

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

新型コロナウイルス感染症への対応と影響

森永乳業のサステナビリティ

7つの重要取組課題

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給

● **次世代育成**

- > 基本的な考え方
- > 体制
- > KPI

森永乳業の次世代育成活動
次世代育成の環境を整える
オンラインでの取り組み

- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

方針等

第三者保証

国連グローバル・コンパクト対照表

GRIスタンダード対照表

次世代育成

基本的な考え方

サステナブルな社会づくりに貢献する子どもたちの健やかな成長を応援します。

森永乳業は社会をつくるのは、「人」であり、成長支援は、教育機関だけの役割ではなく、社会全体に関わらなければならないと考えています。

これからの社会は、急速な情報化、グローバル化に伴い現在の常識の延長にはない社会になることが予想されています。教育面では、学習指導要領も改訂され、社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育むことを目指しています。

森永乳業では自社の知見を活かして、次の時代を担う子どもたちを育成するプログラムを用意しました。これからも次世代育成を応援していきます。

また、次世代育成活動をはじめとする社会貢献活動に対して、2019年度は108百万円、2020年度は105百万円を寄付金として拠出しました。

KPI

活動の方向性	KPI	KPI進捗状況の詳細
健康で豊かな生活の基礎力を獲得するための食文化や栄養を学ぶ場の提供（食育講座、キッズシアター）	2019年から3年間の延べ参加者数30万人	キャリア教育、キッズシアター、工場見学などの延べ参加者数約13万人（2021年3月31日時点）（▶P.77） ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2020年2月より工場見学、企業訪問、出前授業の受け入れを中止。その後、企業訪問、出前授業についてはオンライン開催として再開しました。その他の次世代育成プログラムも、オンラインで開催しました。
自然の恵みと、それを活かす技術・研究を学ぶ場の提供（工場見学、森と食の探検隊、キャリア教育）		
次世代を育成する環境の整備	エンゼル110番での継続的な育児相談の実施。2020年度で延べ100万人の相談を受け付け	相談受け付け延べ人数約99万人（2021年3月31日時点）（▶P.79）



体制

KPIの進捗、確認、報告は年に2回のサステナビリティ委員会（委員長：社長）にて行います。また、「重要取組課題：次世代育成」の責任者を関係本部の本部長が担い、KPIの推進責任者を関係部署の部長が担い、PDCAサイクルを回していきます。

社内の次世代育成の事務局はサステナビリティ推進部が担い、関係部署と連携して推進しています。

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

新型コロナウイルス感染症への対応と
影響

森永乳業のサステナビリティ

7つの重要取組課題

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給

● 次世代育成

基本的な考え方

体制

KPI

> 森永乳業の次世代育成活動

次世代育成の環境を整える
オンラインでの取り組み

- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

方針等

第三者保証

国連グローバル・コンパクト対照表

GRIスタンダード対照表

森永乳業の次世代育成活動

工場見学

森永乳業の商品がどのようにつくられているのかを実際にお客さまにご覧いただけるよう、東京多摩工場・中京工場・神戸工場の3工場で工場見学を行っています。工場見学では、衛生的な製造施設、安全・安心を基本としたものづくりの姿勢など、森永乳業のこだわりを実感いただけます。

※2020年2月より新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、受け入れを休止しています。



※写真は2019年度

森永リトルエンゼル育成プログラム 森と食の探検隊

「森永リトルエンゼル育成プログラム 森と食の探検隊」は、小学校4～6年生約30名を対象とした、野外教育活動です。自然の中での4泊5日の共同生活で、野菜の収穫体験、酪農体験、木登り、川遊び、工作、工場見学など、さまざまな「食べる」「創る」「遊ぶ」を通して、仲間たちと協力しながら「生きる上で大切なモノを自ら発見する」ことを目指します。



※写真は2019年度

「キッザニア東京・甲子園」へのパビリオン出展

キッザニアは、子どもたちが憧れの仕事にチャレンジし、楽しみながら社会の仕組みを学ぶことができる「こどもが主役の街」です。リアルな職業・社会体験を通して、未来を生きぬく力を育むことができるというキッザニアの想いに共感し、森永乳業はオフィシャルスポンサー



として2012年からキッザニア東京に、2016年からはキッザニア甲子園に「ミルクハウス」パビリオンを出展しています。「ミルクハウス」では、ミルクフードメーカーになってお客さまの喜ぶ商品を企画し、完成させます。この仕事体験を通じて、①お客さまに新しい「付加価値」を提供する職業の体験・理解、②牛乳・乳製品に親しみを持ってもらうこと、③酪農業界への理解・関心を持つことを伝えています。

REPORT

▶「オンライン化の取り組み」P.80参照

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

新型コロナウイルス感染症への対応と影響

森永乳業のサステナビリティ

7つの重要取組課題

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給
- **次世代育成**
 - 基本的な考え方
 - 体制
 - KPI

> 森永乳業の次世代育成活動

- 次世代育成の環境を整える
- オンラインでの取り組み
- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

方針等

第三者保証

国連グローバル・コンパクト対照表

GRIスタンダード対照表

キャリア教育

小学校向け出前授業

次世代を担う子どもたちが健康で豊かな生活の基礎力を獲得できるよう支援することを目的に、2015年からはじまりました。

毎日給食に出る牛乳を教材に、パッケージに掲載されている情報を読み解きながら、体づくりに大切なことを考える45分間のプログラムです。2020年度からは、ヨーグルトを題材に発酵や製造工程について学びながら、おいしさと健康について考える45分間のプログラムもスタートしています。

REPORT ▶「オンライン化の取り組み」P.80参照

実施実績

	2016	2017	2018	2019	2020
実施回数(回)	3	4	5	7	3
参加者数(名)	80	132	327	422	299

中高大学生向けキャリア教育

職業観・就業観をはぐくみ、教育分野における社会的課題の解決に貢献するため、当社従業員が学校へ出向く、またはオンラインでアドバイスをを行うなど、生徒や学生の学びを支援しています。2014年より株式会社トゥワイス・リサーチ・インスティテュートが運営する中・高・大学生を対象としたPBLプログラム(Project Based Learning)に協力しています。

企業が提案する課題に取り組み、その結果をプレゼンテーションすることで、社会に出たときに必要となる「生きる力」を育むことを目指しています。

また2016年より、修学旅行や探求学習の一環で本社を訪れた学生グループに対し、従業員が自身のキャリアや仕事のやりがいを伝えたり、簡易的な職業体験などを行う「企業訪問学習」プログラムを行っています。本プログラムは、2020年より、SDGsを組み込んだ内容へと変更し、オンライン形式での開催をスタートしました。企業と社会とのつながりや、働くことへの理解

を深めることで、生徒や学生自らのキャリアを考えるきっかけづくりに貢献しています。

REPORT ▶「オンライン化の取り組み」P.80参照

実施実績：企業インターワーク

	2016	2017	2018	2019	2020
学校数(校)	23	20	19	23	25
参加者数(名)	1,048	874	774	1,142	980

※参加企業と選択プログラムの増加に伴い、1社当たりの参加人数が減少

実施実績：企業訪問学習

	2016	2017	2018	2019	2020
学校数(校)	12	27	33	53	1
参加者数(名)	61	234	282	588	270

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

新型コロナウイルス感染症への対応と影響

森永乳業のサステナビリティ

7つの重要取組課題

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給

● **次世代育成**

基本的な考え方

体制

KPI

- > 森永乳業の次世代育成活動
- > 次世代育成の環境を整える
オンラインでの取り組み

- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

方針等

第三者保証

国連グローバル・コンパクト対照表

GRIスタンダード対照表

ツアーオブバレーボール

元全日本代表選手による技術指導と、当社の商品とサービスを通じて食の大切さを伝えることで、女子中学生アスリートの成長支援につなげることを目的に2016年から全国でバレーボール教室を実施しています。



※写真は2019年度

REPORT ▶「オンライン化の取り組み」P.81 参照

実施実績

	2016	2017	2018	2019	2020
実施回数(回)	21	22	23	21	—
参加者数(名)	2,317	2,277	2,398	2,196	7,773

※2020年の実績は、バーチャルバレーボールノート配布者とオンラインリモート教室、座談会の参加者の合計人数

次世代育成の環境を整える

育児に関する無料電話相談 エンゼル110番

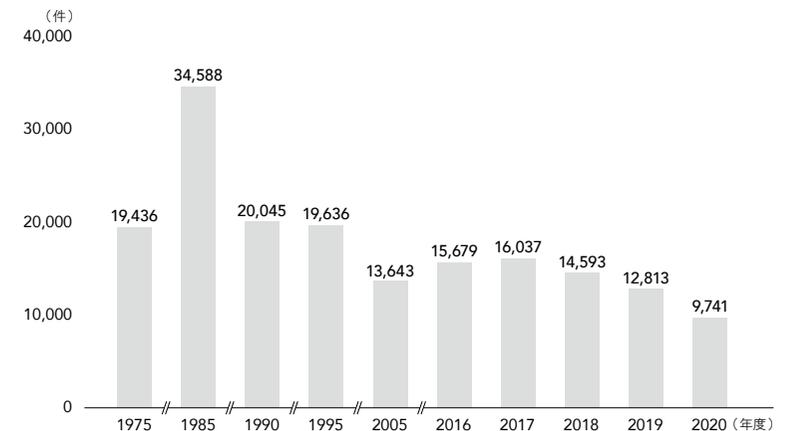
1970年代の高度成長期に核家族が急増し育児環境が大きく変化した時代の社会状況を背景に「子育て奮闘中のお母さんたちのお役に立ちたい」という思いから、1975年5月に無料の育児電話相談窓口として開設しました。妊娠中からお子さまが小学校に就学する前までの妊娠・育児に関する相談をお受けしています。これまでにお受けした電話相談は988,279件(2021年3月31日時点)にのぼります。相談内容は、「何をどれだけ食べさせればよいか」といった“食生活”、「子どもを育てる自信がない」といった“相談者自身”、お子さまの“発育・発達”に関する事など多岐にわたります。

また、看護大学生のカリキュラムの一環としてのオンライン研修の実施、従業員への育児サポートセミナーの開催など電話相談以外の活動にも取り組んでいます。

相談員は、不安・悩み・疑問に耳を傾け、一人ひとりが自分なりに問題を解決できるよう一緒に考え、相談者の不安を取り除くことを基本姿勢としています。これからも妊娠・育児に奮闘する皆さまのサポーターとしてお役に立ちたいと考えています。

REPORT ▶「オンライン化の取り組み」P.81 参照

「エンゼル110番」相談件数



※2020年度については、新型コロナウイルス感染拡大を受け、相談員の安全確保のため、相談体制を一部縮小して対応しました。

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

新型コロナウイルス感染症への対応と
影響

森永乳業のサステナビリティ

7つの重要取組課題

●健康・栄養

●環境

●人権

●供給

●次世代育成

基本的な考え方

体制

KPI

森永乳業の次世代育成活動

次世代育成の環境を整える

＞ オンラインでの取り組み

●人財育成

●コーポレート・ガバナンス

方針等

第三者保証

国連グローバル・コンパクト対照表

GRIスタンダード対照表

オンラインでの取り組み

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、また、昨今の教育現場のICT化への対応のため、新たなコミュニケーション形式としてオンライン化を推進しています。2020年より、これまでの対面のみでの取り組みから、オンラインでも同様の価値を実感できるプログラムとして、内容を新たに取り組んでいます。

森と食の探検隊オンライン座談会

過去5年間(2015年～2019年)の参加者を対象としたオンライン座談会を開催し、66名の方にご参加いただきました。過去の活動を振り返ること、過去参加者同士の交流、対話により自身の成長に気づくことができるプログラムとなりました。今後も、過去参加者の成長体験を実感できるプログラムを継続的に実施していきます。



オンライン出前授業(小学校)

ヨーグルトを題材に、スライドや映像を使い発酵について講師役の社員と一緒に進めるプログラムをスタートしました。児童からのインタビューに答える時間も用意しており、オンラインでも双方向でコミュニケーションを取りながら進めます。身近な乳製品を知ることから、ヨーグルトの発酵の仕組みや健康との関係性、製造工程を学ぶプログラム



です。2020年度は、266名の小学生に参加いただきました。

オンライン企業訪問(中学生、高校生、高専生)

サステナブルな社会に貢献し続けるための当社の事業内容、社員の働き方や学生時代の過ごし方を、映像や個人ワーク、リアルタイムでの質疑応答を交えてご紹介するプログラムです。生徒の皆さんが自身の将来とのつながりを考えながら、職業・仕事を通じて未来の社会を



創り上げていく意識の醸成に貢献します。参加生徒からは、「キャリア形成のイメージ、森永乳業の社会的役割や商品に対する想いが伝わった」や、先生からは「ITを導入した教育の具体的なイメージ、可能性を体験でき、今後はオンラインツールを用いた企業との連携も進めていきたい」との声をいただきました。

※本文・写真はプレオンライン企業訪問の内容です。

企業インターワーク

2020年度は「日本発のビフィズス菌”で世界の人たちのヘルス&ビューティーを促進するSNSを活用したPR企画を提案すること！」をテーマに全国25校980名の高校生に会社の未来を一緒に作りあげる企画提案にチャレン



ジしていただきました。ビフィズス菌をきっかけに、健康や世界情勢について多くを学んでいただきました。当社従業員は、オンラインにて参加グループと交流し、活動をサポートしました。全国大会では、当社をインターワーク先に選択した江戸川女子高校2年生(チーム名「おぎゆい。」)が見事グランプリを受賞し、全参加チームの頂点に立ちました。

〈目次〉

サステナビリティに関する情報開示の
考え方

編集方針

会社情報

コーポレートミッション

新型コロナウイルス感染症への対応と
影響

森永乳業のサステナビリティ

7つの重要取組課題

- 健康・栄養
- 環境
- 人権
- 供給

● **次世代育成**

基本的な考え方

体制

KPI

森永乳業の次世代育成活動

次世代育成の環境を整える

＞ オンラインでの取り組み

- 人財育成
- コーポレート・ガバナンス

方針等

第三者保証

国連グローバル・コンパクト対照表

GRIスタンダード対照表

ツアーオブバレーボール×オンラインバレーボール教室

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、森永乳業杯ツアーオブバレーボールは中止としました。代替えとして、練習や活動の制限を受けている子どもたちのために、技術指導・栄養指導が疑似体験できるバーチャルバレーボールノートを作成。教育委員会を通じ、全国22都道府県に約7,000部配布しました。また、このノートの使用者を対象にZOOMを活用したフォローアップリモート教室を開催。トップアスリートによるフォローアップ練習（技術指導）と座談会（健康・栄養の訴求）を実施しました。

参加者の皆さまからは「栄養とスポーツとのコラボレーションイベントは大変興味深かった」「普段は聞けない裏話を知れて満足です」との声をいただきました。



エンゼル110番オンライン座談会

当社従業員向けに、子育ての悩みや困りごとを解決すべく、「エンゼル110番」の相談員とオンラインの座談会を開催しました。「コロナ禍での遊ばせ方」「兄弟喧嘩の親の関わり方」「子どもの発育」など、相談員からのアドバイスだけでなく、先輩ママから後輩パパへの体験談など、育児の話で盛り上がりました。

